

# はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪

## ワンランク上の病院をめざして

私たちは、患者さんの意思を尊重し、高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します。

Photo : 今津灯台

[nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp](http://nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp)

### Message メッセージ

#### 総合病院の特性を活かして 眼科診療の現況

■概要、Q&A、スタッフ紹介 etc.

### Information お知らせ

- にしびょうTopics  
アレルギー外来／第5回地域連携懇談会
- がん対策  
アミノインデックスがんリスクスクリーニング
- 患者サービスの向上をめざして
- 院長エッセイ「四季雑感」  
紫陽花「変わらぬ愛情」
- 医療技術NOW!  
薬剤部より
- 絵の中の風景を旅するvol.3  
にしびょう美術館館蔵品を毎回紹介



# 眼科診療の現況

眼科医師：岩橋佳子、法貴哲、西尾彩



**超** 高齢化社会の到来で、眼科疾患もますます増加しています。情報の90%以上は視覚から入ってくるとも言われ、見えなくなるということは患者さんに大きな不安と苦痛をもたらします。

治療により少しでもその不安を取り除き、見える喜びを実感していただけるようスタッフ一同誠意をもって対応しています。



**外来** :視力検査、視野検査をはじめ各種検査は視能訓練士が行います。また弱視訓練など視機能改善のための訓練、ロービジョンケアも4人の視能訓練士がフル稼働で実施しています。造影検査の説明、外来処置の介助、術後患者の点眼指導などは2名の外来看護師が行っています。

最近では加齢黄斑変性症の治療件数が増加してきました。40才以上の有病率は約1%で、中途失明の原因第4位を占める重要な疾患です。抗VEGF薬の硝子体注射を外来治療で行っています。その他糖尿病、網膜静脈閉塞に伴う黄斑浮腫のトリウムシノロン注射、眼底疾患、緑内障のレーザー治療なども外来で実施しています。眼炎症(ぶどう膜炎)治療も積極的に行っています。

**入院** :手術目的の入院がほとんどです。年間900件以上の手術の約9割が白内障手術で、症例により乱視矯正眼内レンズを採用しています。その他黄斑円孔、黄斑上膜など各種網膜硝子体疾患、緑内障手術も積極的に行っています。

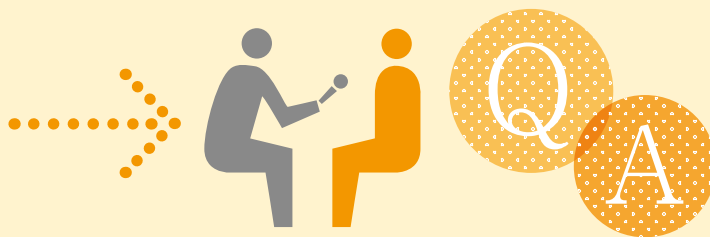
白内障手術はすべて入院で対応しています。病院はやはり高齢者、全身疾患合併例が多く紹介されますので、時に他科の協力を得て安全な手術を心がけています。昨年術前センターが開設され、外来での手術申し込みから入院までの流れがスムーズになりました。



**外** 来診療では糖尿病、高血圧の合併症としての網膜血管疾患を診ることが多く、また入院は高齢者がほとんどで全身合併症をお持ちの方が多いため、地域の先生方には多大なお世話になっております。

今後ともますます緊密な病診連携を心がけて参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 眼科診療について質問! INTERVIEW



**Q** 白内障手術は日帰りではできないのですか？

**A** 手術後の管理を含め1泊2日以上の入院で実施しています。

**Q** 手術の後睡眠中に無意識に目を触ってしまわないか心配なのですが・・・

**A** 白内障の手術後しばらくは感染予防、外部からの刺激や圧迫から目を保護するため、外出時・就寝時には眼球保護帯を装着するよう指導しています。  
術後、医師の許可が出るまでは就寝時保護帯をしていただくことになります。

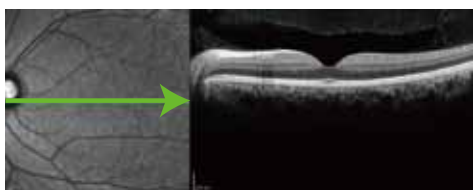


回答者(外来看護師:原綾子)

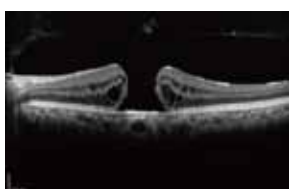
## 最新情報

### □ 光干渉断層計 (Optical Coherence Tomography ;OCT)

光干渉断層計は近赤外線低干渉ビームを光源として、眼底の様子を断層像として観察できる検査機器です。非接触・非侵襲的に光学顕微鏡組織切片に類似した画像が得られ、各種網膜硝子体疾患や緑内障などの診断や治療方針の決定、臨床経過を追う上で役立っています。



●正常眼底;左の眼底写真の矢印の部位をスキャンした断層像が右に示される。



●黄斑円孔



●加齢黄斑変性症

## スタッフ紹介



- 岩橋佳子(眼科部長)
- 西尾彩(眼科医長)
- 法貴哲(眼科医長)
- 松岡孝典(研修医)
- 米本有里(視能訓練士)
- 土岐実里(視能訓練士)
- 川本祥子(視能訓練士)
- 滝裕美子(視能訓練士)
- 水嶋雪子(外来看護師)
- 原綾子(外来看護師)
- 豊田恵(外来看護補助者)
- 上前怜奈(外来看護補助者)

## アレルギー外来が始まりました。

(2013年4月から)



大阪大学耳鼻咽喉科学教室の協力を得て、毎週水曜日午後には大阪大学医学部特任教授荻野敏医師による、アレルギー外来が始まりました。

アレルギー疾患(気管支喘息、アレルギー性鼻炎、花粉症、アトピー性皮膚炎など)に対し、抗アレルギー薬(内服薬や点鼻薬)による治療が広く普及しています。しかし、症状が強く投薬でも改善しない場合があります。この場合、アレルギー原因物質(ハウスダスト、スギなど)を少量ずつ注射し、アレルギー症状を出にくくする特異的免疫療法(減感作療法)があります。アレルギーでお悩みの患者さんがおられましたら、ぜひ当院アレルギー外来へのご紹介をお願いします。

## 第5回 地域連携懇談会を開催



6月15日(土)当院の大会議室にて、第5回 地域連携懇談会を開催致しました。

今回は、内分泌内科・循環器内科・耳鼻咽喉科・眼科

の各医師よりそれぞれの特色や取組みの実績などについてご説明・ご報告をさせていただきました。

当日は、あいにくの天候でしたが、地域より開業医の皆様計17名にご参加いただき、活発な意見交換が交わされました。地域連携にはお互いの理解と信頼関係が必要不可欠です。今後も、より密な地域連携を推進していくため、引き続き開催予定です。次回開催は来年1月18日(土)です。

## がん対策

### 検査紹介

## アミノインデックス がんリスクスクリーニング(AICS)

### 【どんな検査?】

血液中に含まれる約20種類のアミノ酸の濃度を測定・解析し、そのバランスの変化から、がんの可能性を調べる検査

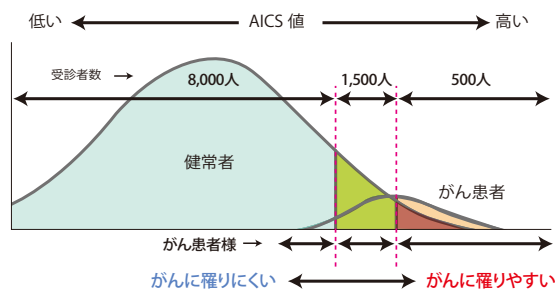
### 【特徴は?】

- ・採血量はわずか5ml
- ・早期がんに対する感度が高い
- ・がんの組織型に左右されない

### 【判定は?】

AICS値で3段階表示(右表参照)

(検査放射線部:真田浩一)



ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS 値	0.0~4.9	5.0~7.9	8.0~
胃がん	1/3,200【0.3倍】	1/625【1.6倍】	1/98【10.2倍】
肺がん	1/2,963【0.3倍】	1/536【1.9倍】	1/111【9.0倍】
大腸がん	1/2,000【0.3倍】	1/789【1.3倍】	1/122【8.2倍】
前立腺がん	1/2,222【0.5倍】	1/469【2.1倍】	1/156【6.4倍】
乳がん	1/1,509【0.7倍】	1/556【1.8倍】	1/250【4.0倍】

【 】:一般の方ががんであるリスクを1とした場合の、がんであるリスクの倍率

## 患者サービスの向上をめざして

## サマーコンサートを行いました

入院患者さんやそのご家族の方への癒やしの時間になればと、年に2回院内コンサートを行っています。7月26日にサマーコンサートを行いました。

雪岡看護師がリーダーとなり医師や看護師など院内職員を中心に結成されたグループが、「サザエさん」「男はつらいよ」などリズムカルに演奏しました。「少年時代」では、参加された患者さんと大合唱。この



夏も「猛暑」、フルーツやクラリネット、サクソなどの音色を聞きながら、爽やかで涼しい感じを楽しんでいただけたのではないかと思います。

院内コンサートは、次回にもう一度12月に行います。機会があれば、是非ご参加ください。

(看護部:足立育子)

## 四季雑感



**紫** 陽花(あじさい)の花が咲いています。三十年近く前のことですが、紫陽花の咲く公園で、私の幼い娘たちが、雨の中でカラフルな傘をさしながら、賑やかに戯れていたのを思い出します。しめやかに降る雨の雫をたたえて、色を変えていくさまは、より美しくなるとうする意思を表しているのでしょうか。それとも無常ととらえるのでしょうか。

確か、紫陽花は日本原産の植物で、中国を経てヨーロッパに広まったようです。シーボルトがこよなく紫陽花を愛し、日本人妻のお滝さんにちなんでOtaksan(オタクサン)と名づけています。花言葉は「変わらぬ愛情」だそうです。

家族や周囲の人々に変わらぬ愛情を注ぐには、やはり健康の維持がなにより大切です。すでに高齢化社会に入っているわが国では、がんになる人が増えていま

す。しかし、有難いことには、がんによる死亡率は減ってきています。これは、がんの早期発見、早期治療が奏効しているからです。がん検診を積極的にうけましょう。そうは言っても、やはりがんにならない、がんを予防することが最も望まれています。がんを予防する生活習慣としては、まず喫煙をせず、飲酒は控えめにすることです。同時に過食を避け、野菜と果物を適量にとることが薦められています。さらに日々適度な運動を行うようにしましょう。

紫陽花は梅雨どきの風物詩で、憂いを含んだ華やかさを感じさせてくれますが、一方では、移ろいやすさを暗示しています。これから暑く寝苦しい季節に向かいますが、どうか皆様方におかれましては、くれぐれも体調に留意されてなるべく日々健やかに過ごされるよう、さわやかな秋をお迎えくださいますように。



院長  
河田 純男

## 医療技術 NOW!

西宮病院の「今」がわかる。

薬剤師は、術前センターで患者さんが持ってこられたおくすり手帳により、服用薬のチェックを行っています。手術前に服用を中止すべき薬剤が含まれていた場合には、処方医にFAXで中止の可否及び中止日を確認させていただいております。今後、術前センターでは眼科の白内障手術を対象に加える予定です。

受診の際にはおくすり手帳を持参していただくよう、患者さんにお伝えいただけると幸いです。

(薬剤部：高村志保)



# 絵の中の風景を / 旅する vol.3

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp/>

当院外来ロビーや各病棟には、地域の方々や入院患者さん、そのご家族などからのご寄贈による200点以上にものぼる絵画が飾られています。“にしびょう美術館”の貴重な“館藏品”は、当院ホームページ内の「にしびょうWebミュージアム」でも常設展示していますが、これらの作品の中から、毎回、ちょっと気になる1作品をとり上げてご紹介いたします。と一緒に、絵の中の風景を旅してみませんか。



展示場所

本館 7 階  
公衆電話コーナーの壁面



あなたは、この作品を見て、どのように感じられますか？

私は、一人の若者が、美しく輝く満月の下、ラクダをいたわりながら、夜の砂漠を我が家に向かってゆっくりと歩いているように見えます。

何故、ラクダをいたわりながら歩いているのでしょうか。

たぶん、昼間の砂漠の強い陽射しの中、重い荷物を持たせたのでしょう。ラクダに乗って帰れば、早く家に帰れるのに、足下の悪い砂の道を一緒に歩いて帰る。ゆっくりと・・・ゆっくりと・・・ラクダを家族の一員と考え、いたわる優しさを感じられる作品だと思います。

(総務部:足立 彰久)

## 編集後記

編集室



暑い日が続いておりますが、いかにお過ごしでしょうか。いつも「はまかぜ」をご覧頂き、ありがとうございます。今後とも、地域の中核病院として日々努力してまいります。今まで同様、皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

(地域医療連携センター看護師:川辺 美由紀)

## 兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号  
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594

地域医療連携センター FAX:0798-34-4436

E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

HAMAKAZE  
2013.03  
Vol.03

[nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp](http://nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp)

2013.08 発行